

名越中継施設整備に係る住民説明会（開催結果）

- ◆開催日時：①令和4年(2022年)12月17日(土)10:00-11:20
②令和4年(2022年)12月19日(月)10:00-10:50
 - ◆開催場所：大町ふれあい会館
 - ◆参加人数：延べ33名（全2回）
 - ◆配付資料：別紙「名越クリーンセンターの今後の活用(中継施設)について説明会を開催します」のとおり ※住民説明会前に同資料を各戸配付
 - ◆主な意見等：
 - ・付帯設備・機能について
 - 避難所、スポーツ機能 など
 - ・交通渋滞/安全対策について
 - 交通渋滞、通学路の安全確保、出入口部分の安全対策 など
 - ・周辺環境への配慮について
 - 排気ガス など
 - ・施設内の動線について
 - ・その他
 - 広域処理、他候補地 など
- ※詳細は、別紙「名越中継施設整備に係る住民説明会意見等とりまとめ（分野別・各回）」のとおり
- ◆今後の対応：
 - ・住民説明会での意見等を踏まえ、名越中継施設整備基本計画を検討
 - ・市対応方針の周辺住民への伝達方法等を同協議会と相談し決定

名越クリーンセンターの今後の活用（中継施設）について 説明会を開催します！！

名越クリーンセンターは、令和6年度末に焼却機能を停止した後、その跡地を利用して市内で排出された燃やすごみを集約し、処理施設に運搬する中継施設を整備する計画です。現在、市では「鎌倉市名越中継施設整備基本計画」の策定を進めており、名越クリーンセンター地域コミュニティ推進協議会と協議のうえ、周辺住民の皆様向けの説明会を開催する運びとなりました。説明会の開催に先立ち「名越クリーンセンターの今後の活用について」の概要をお知らせします。

名越クリーンセンター焼却停止後の施設整備にあたっては、ごみの中継施設としての機能のほか、災害時の防災拠点機能など、地域の皆様に貢献できる機能を併設することを検討していますので、是非、ご意見、ご要望をお聞かせください。

説明会の日程

地域の大切な説明会です。是非お越しください。
また、付帯機能についてのご要望もお聞かせください。

日時：第1回：12月17日(土)10:00～11:00

第2回：12月19日(月)10:00～11:00（第1回と同じ内容です）

場所：大町ふれあい会館(定員 各25名)

※予約不要、定員になり次第受付終了となります。

※今回の説明会のほか、ご要望に応じて追加開催及び個別対応も実施します。

市のごみ処理施策

- 「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現
- 広域化による共同処理

●現状と方針

本市では、環境負荷の少ない循環型社会を形成するため、焼却や埋め立てによる最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を基本理念として掲げています。

ごみ処理施策を取り巻く環境として、人口減少に伴うごみ量の減少や担い手不足、気候変動への対応、老朽化した施設の維持管理・更新コストの増大等の課題がある一方、様々な資源化技術が確立しつつあります。

本市唯一の焼却施設である名越クリーンセンターは老朽化が進んでおり、令和7年(2025年)3月をもって稼働を停止する予定です。名越クリーンセンター稼働停止後については、ごみ処理施策を取り巻く環境を考慮し、環境負荷や処理の安定性、費用面から検討した結果、新たな焼却施設を建設せずに、ごみの減量・資源化をさらに進め、燃やすごみを極力減らしていくこととしました。

そのうえで、逗子市・葉山町とともに策定した「鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画」に基づき、逗子市既存焼却施設を中心に燃やすごみの処理を行う計画です。

名越クリーンセンター の今後の活用について

- 令和6年度末 稼働停止
- 令和9年度 中継施設稼働開始(予定)

令和7年度以降、「鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画」に基づき、逗子市既存焼却施設を中心に燃やすごみを処理するにあたり、燃やすごみを処理施設に効率的に運搬するため、ごみ収集車から大型車に積み替えるための中継施設が市内に必要です。

このため、名越クリーンセンター稼働停止後に、同施設を解体し、跡地に新たに中継施設を建設する計画です。

	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R11 2029	R16 2034	R17~ 2035~
名越クリーンセンター焼却処理	→								
名越中継施設の整備				→			★名越中継施設稼働		
今泉クリーンセンター継続 ※資源化施設整備 (継続協議)				→			★今泉中継施設利用終了		
広域連携(逗子市施設)				→				→	
広域連携 (2市1町集約)									→
※クリーンセンターの統合								→	

～令和6年度

市内で排出される家庭系燃やすごみは、引き続き、名越クリーンセンターへ搬入し焼却処理を行い、令和6年度末をもって稼働を停止します。

事業系燃やすごみは、今泉クリーンセンターに搬入した後、大型車両に積み替えて、民間資源化処理施設に運搬します。

令和7～8年度(予定)

名越クリーンセンター焼却施設を解体した後、中継施設の建設工事を行います。

工事期間中は、今泉クリーンセンターの中継機能を継続し、現在受け入れている事業系ごみに加え、名越クリーンセンターで焼却していた家庭系燃やすごみも受け入れ、大型車に積み替えて、逗子市既存焼却施設等に運搬することを計画しています。

解体・整備期間は、社会情勢や民間事業者へのヒアリング等を踏まえ、精査していきます。

令和9年度(予定)～

市内の燃やすごみは、名越クリーンセンター敷地内に整備した中継施設に搬入した後、大型車両に積み替えて、逗子市既存焼却施設や民間処理施設に運搬し、処理を行います。

名越中継施設の概要

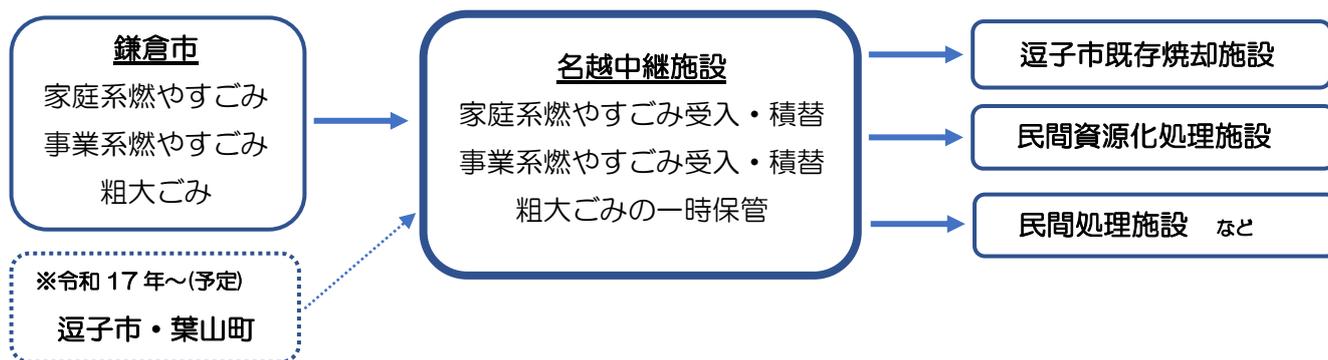
市では「鎌倉市名越中継施設整備基本計画」の策定に向けた検討を進めています。

市では、ごみ処理広域化の実施にあたり、安定的かつ効率的に燃やすごみを処理施設に運搬するための中継施設の整備を行います。

本施設の整備にあたり、必要な機能や仕様、運用管理等を盛り込んだ「鎌倉市名越中継施設整備基本計画」の策定を進めています。

中継施設とは？

市内で排出された燃やすごみ（家庭系・事業系）を効率的に処理施設に運搬するため、収集車で回収したごみを中継施設で集約し、大型車両に積み替える役割を担います。



受入対象ごみ・計画ごみ搬入量・施設規模

名越中継施設の検討にあたり、前提条件となる「受入対象ごみ」、「計画ごみ搬入量」、「施設規模」は次のとおり設定しています。

受入対象ごみ	計画ごみ搬入量	施設規模
燃やすごみ（家庭系・事業系） 粗大ごみ	29,851 t	120 t / 日

処理方式の検討

中継施設の処理方式については、「コンパクト・コンテナ方式」の採用を検討しています。

コンパクト・コンテナ方式の処理イメージ図



「コンパクト・コンテナ方式」は、燃やすごみを収集車から受入ホッパーに投入し、投入されたごみは、供給・搬送装置により圧縮設備(コンテナ)に送りこまれます。

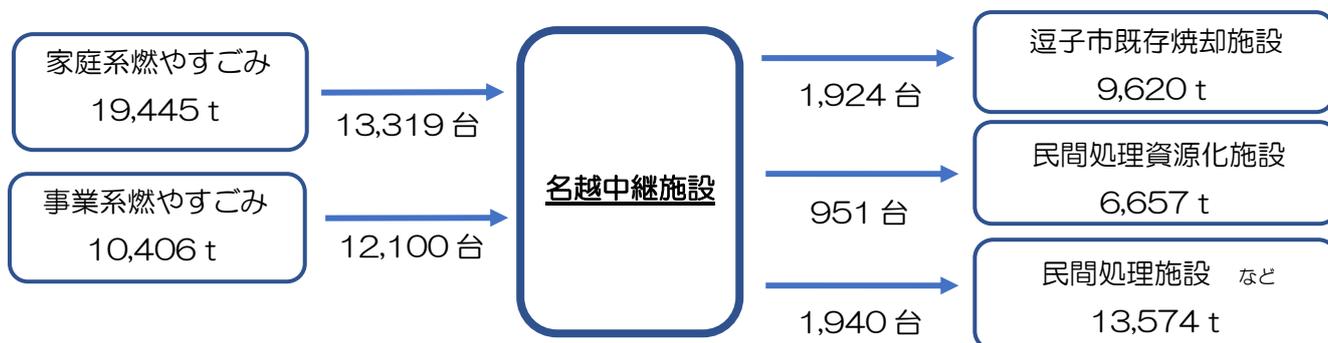
この方式は、密閉環境でごみを積み替えるため、外部へ臭気が漏れることを抑えられることから、整備予定地に住宅が近接している本市に適した手法であると考えています。

※ 同方式の処理施設が町田市(名称:リレーセンターみなみ)にあり、令和5年(2023年)1月下旬に希望者向けの見学会を予定しています。

(出典:大磯町 HP から)

搬出入車両台数（令和9年度：推計）

令和9年度の計画ごみ搬入量は、リスクを踏まえて推計最大値の29,851 tに設定しています。市内で排出される燃やすごみ（家庭系・事業系）を収集するために必要な収集車両台数と、名越中継施設において積替え、処理先に運搬する大型車両の台数の推計値は次のとおりです。



周辺環境への負担軽減策

●環境保全対策

「コンパクト・コンテナ方式」を採用することにより、臭気の拡散を抑えることが可能と考えていますが、高速シャッターや脱臭装置の設置、発生源箇所における消臭剤の散布等の対策を検討していきます。

●車両削減対策

周辺交通環境への負荷を可能な限り低減できるよう、現在年間約20,000台ある市民持込車両を委託業者等による収集を拡充することなどにより削減するとともに、ごみの減量・資源化施策の展開によるごみ搬入量の削減、効率的な施設内動線の検討を進めます。

中継施設機能以外の付帯機能・設備（案）

名越中継施設の整備にあたっては、ごみ処理機能だけではなく、複数の機能を持ち、地域の魅力向上に寄与する施設となるよう整備していきます。

【付帯機能・設備の導入例】

- 防災拠点機能（防災備蓄倉庫、非常時の電力供給設備 など）
- 環境学習機能（施設見学スペース、再生可能エネルギーの活用 など）
- 地域コミュニティ機能（研修室、展示ホール など）

【問い合わせ先】 鎌倉市 環境部 環境施設課

TEL:0467-61-3625(直通)

MAIL:siseken@city.kamakura.kanagawa.jp

名越クリーンセンター

TEL:0467-24-1097(直通)

名越中継施設整備に係る住民説明会意見等とりまとめ（分野別）

	分野	住民意見の概要
1	付帯設備・機能	<p>付帯設備・機能について</p> <p>→避難所となる場所を整備してほしい。</p> <p>→スポーツ施設(テニスコート等)を整備してほしい。</p> <p>→展望室を整備してほしい。</p> <p>→地上デジタル放送が映らないため、中継局を設置してほしい。</p> <p>→市において市民要望に応じてきた経験も踏まえて付帯設備・機能を検討してほしい。</p> <p>→付帯設備・機能の検討にあたっては、施設規模や収容可能人数等の具体的な事項についても相談してもらいたい。</p>
2	交通・道路問題	<p>①交通渋滞について</p> <p>→搬出入車両により、交通渋滞が生じないか。</p> <p>→大型車両の通行に伴い、周辺道路が渋滞しないか。</p> <p>→搬入車両と搬出車両が施設出入口で交錯し、渋滞しないか。</p> <p>→大型車両は一日何台通行するか。</p> <p>②安全対策について</p> <p>→小・中学校の通学路となっているため、安全面が心配である。 通学・通勤時間帯は配慮してもらいたい。</p> <p>→警察と協議のうえ、安全対策(トンネル出口の標識設置等)を講じてもらいたい。</p> <p>→車両の出入りにあたっては、現状と同様に職員が誘導するか。</p> <p>→市全体で当事業への対応（道路整備等）を検討してもらいたい。</p>
3	周辺環境への影響	<p>周辺環境への配慮について</p> <p>→電気自動車の導入や環境に配慮した車両を導入する事業者を優先的に選定するなど、排気ガスや騒音への対応を検討してもらいたい。</p>
4	施設整備	<p>受入対象ごみや施設内動線について</p> <p>→粗大ごみの受入場は整備するか。</p> <p>→粗大ごみの受け入れを行う場合、放火や強風等の危険があるため、屋内で処理してもらいたい。</p> <p>→車両動線計画は。</p>
5	広域化	<p>広域処理について</p> <p>→2市1町で広域処理を行うのであれば、有料袋を統一してはどうか。</p> <p>→逗子市長が変わったら現在の計画も変わってしまうのではないか。</p>
7	その他	<p>その他</p> <p>→粗大ごみを再利用できるのではないか。</p> <p>→他の地域にごみ処理施設を整備すればよいのではないか。</p> <p>→工事期間中及び中継施設稼働後も粗大ごみの受付を継続してもらえるか。</p>

名越中継施設整備に向けた住民説明会意見等とりまとめ（各回）

日時 令和4年（2022年）12月17日（土）10時00分から11時20分まで
 場所 大町ふれあい会館
 出席者 牧野課長、月花課長、松井課長、鬼頭係長
 参加人数 21名

NO.	意見の概要
1	2市1町で広域処理を行うのであれば、有料袋を統一してはどうか。
2	名越中継施設から処理先へ運搬する車両は大型車両であるため、これまでと状況は異なるのではないかと。 避難施設を整備してほしい。
3	大型車両が通行することになると周辺道路の渋滞が予想されるが、対策はあるか。
4	大型車両は周辺道路を通行可能か。 第一小学校や附属小学校の児童・生徒の通学路になっているため、安全面が心配である。通学・通勤時間帯は配慮してもらいたい。 年間数万台の車両が通行すると排気ガスも気になる。委託契約にあたっては、電気自動車を導入している民間事業者を優先的に選定する等の対応を検討してもらいたい。
5	大型車両の搬出入に係る配慮は。 車両の出入りにあたって職員誘導は継続する予定か。
6	逗子市方面からの見通しは悪く、下り坂になるため、トンネル出口に標識やサインを設置する等、効果的な対応を県警と協議し検討してもらいたい。 粗大ごみの受入場は整備するのか。仮に粗大ごみを受け入れる場合には、屋外での保管は放火や強風等による危険もあることから、建屋内で処理できるよう検討してもらいたい。 付帯設備・機能の検討にあたっては、施設規模や収容可能人数等の具体的な事項についても相談してもらいたい。
7	災害時には材木座周辺の住民も一時的に避難することになると思うので、考慮してもらいたい。
8	テニスコートやスポーツ施設として利用できるかもしれない。
9	粗大ごみの一部を修理しながら、バザーや福祉祭りで販売することで収入を得られるとともに、処理量を削減できるのではないかと。
10	現状の道路環境のまま車両が増加すると騒音につながるため、中継施設整備にあたっては、市全体で対応を検討してもらいたい。
11	逗子市既存焼却施設も耐用年数があり、市長が代われれば方針が変わってしまうこともあるのではないかと。
12	深沢整備事業用地等にごみ処理施設を整備すればよいのではないかと。

日時 令和4年（2022年）12月19日（月）10時00分から10時50分まで
 場所 大町ふれあい会館
 出席者 月花課長、松井課長、鬼頭係長、大島職員
 参加人数 12名

NO.	意見の概要
1	コンパクト・コンテナ方式で整備する場合、ある程度の高さが必要になると思うが、高さ制限はあるか。 街を眺望できるような場所を設けられないか。眺望が可能であれば、観光スポットにも成り得ると思う。 町田市の中継施設は上部をマンションとして利用しているが、ごみの搬出入の位置はどうなっているか。 搬入車両と搬出車両が交錯し、渋滞になることが予想されるが対策はあるか。 中継施設に搬入車両が入場する際に、県道が渋滞することはないか。
2	名越クリーンセンターの整備にあたっては、焼却した熱を利用した温浴施設ができることを期待していた。 令和9年度の車両台数については、車両削減方策等により現状と同程度の車両台数になるとの理解でよいか。 名越中継施設整備工事中、粗大ごみの持込はどのような対応となるか。
3	粗大ごみの持ち込みは、工事期間中やその後も継続されるか。
4	付帯設備・機能については、市において市民要望に応えてきた経験値があると思うので、それらを集約し生かしてほしい。 臭気等への対応方法を具体的に説明してほしい。 車両が増えることによって排気ガスや騒音の問題もあるため、騒音のない車を使っている業者を選ぶなど、施設近隣の方々の想いも理解しながら整備してほしい。
5	雨の日は収集車の荷台に水が溜まりその状態で走行すると、水が一気にこぼれ落ちるのをよく見かけることやパッカー車の臭いが気になることがあるため、指導してほしい。

その他（電話等での問い合わせ）

12月19日	周辺地域は電波の関係で地上デジタル放送が映らないため、中継局を設置してもらいたい。